

コロナ感染症対策について

林 浩史 議員

問 コロナ感染者が増え続けている中、今一度、コロナ感染症の主な感染原因である飛沫感染や接触感染を防ぐため、マスクの着用や手洗いの徹底、濃厚接触を避ける等の感染予防に関して、常に市民が目に触れることが出来るような広報紙「つながり」別紙（保存版）を発行していただけないでしょうか。

答 広報紙「つながり」は様々な市政情報の提供媒体であるため、感染症に特化した保存版の作成は困難ですが、市民の皆様の感染予防に繋がり、またご家庭で直ぐに目に触れる場所に保管できるようなチラシまたはリーフレットを作成し、「つながり」への折り込みで全戸配布するなど、早急に検討を進めてまいります。

結婚新生活支援事業について

福田 浩実 議員

問 国は、少子化対策、転入・定住と人口増対策となる若い新婚世帯を対象に、家賃や引越費用を補助する結婚新生活支援事業を、年齢39歳以下、世帯収入約540万円以下、補助限度額1世帯60万円へ、来年度拡充する方針です。本市も導入すべきと考えますが、お考えは？

答 現在、当該制度導入の予定はございませんが、人口減少問題は、本市の大きな課題として認識しており、今後、制度の導入も検討しつつ、更なる市民サービスの向上を図り、魅力あるまちづくりを推進いたします。

・他の質問項目：PCR検査の対応策について
住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化について

ウイズコロナの子育て支援について

西村千鶴子 議員

問 コロナ禍で子育て支援事業が中止され、全国的に子育て家庭の孤立を招き、虐待も増えたことから、ウイズコロナの子育て支援として広場の拡大が必要。「ととランド」を平和小学校内の平和幼稚園跡のスペースに常設し、平日利用も可能にし利用拡大を。また、子どもの居場所を校区ごとに確保することを要望します。市の方針は？

答 子どもの居場所として、地域スポーツ会館では、地元自治会等の方でコミュニティスポーツ等の活動をしていただいているほか、児童館や公民館なども活用していますが、さらに推進を図ります。平和幼稚園跡のスペースは学童保育所の利用を予定していますが、子育て支援広場としての活用を含め、関係部署との調整に努めます。

校務のデジタル化について

村田俊太郎 議員

問 システム運用のスケジュールとセキュリティ対策をどのように考えておられるのか。また、導入による効果をお聞き致します。

答 システムの運用については、令和3年3月に教育委員会と各学校との連絡及び情報共有を、令和3年度以降に学籍管理などを、段階的に進めます。セキュリティ対策については、文部科学省のセキュリティポリシーに基づき、学習系と校務系のネットワークを分離するなど、不正アクセスの防止に努めます。導入による効果については校務の効率化により、教職員の「働き方改革」となります。また、教職員が児童・生徒一人一人に向き合う時間が増えることで、今まで以上に「質の高い教育」が期待されます。

コロナ感染再拡大での対策と支援について

徳野 衆 議員

問 ①新型コロナウイルスの感染者が発生した高齢者施設に対し、国の「原則全員検査」通知に沿った実施方針を、できるだけ早く県から施設に伝えるべきだがどうか？②住居確保給付金の支給対象拡大について、ホームページでも周知すべきであると9月に指摘したが、まだされていない。すぐに改めるのか？③市役所が閉庁する年末年始も、生活困窮相談の対応は国の通知に沿って行うのか？

答 ①施設の現状について県に情報提供を行い、対応を依頼します。②精査検討の上、早急にホームページの改良を実施いたします。③年末年始の閉庁期間中、毎日ケースワーカー2名体制で生活保護等の緊急連絡が入り次第、対応に当たる予定です。

市政について

乾 充徳 議員

問 本年度は現在まで新型コロナウイルス感染症に対する施策などとして、一般会計で約142億1千万円増の補正予算を編成し、総額では約454億9千万円と過去最高の予算規模となったものである。次年度以降は税収も減少すると思いますが、その状況のもと、どのような方針を持って市政を運営していくのか質問します。

答 集中改革プラン「リメイク大和郡山プロジェクト」ステージ4を推進し、本市が抱える様々な課題に対応するための施策に取り組んでまいります。また、新型コロナウイルス感染症が未だ終息しないこの状況において、市民や事業者等の健康や生活を守るため、必要に応じ、息の長い支援や対策を行ってまいります。